

登録コード	UAB13600	開講年度	2026				
授業題目	芸術コミュニケーションAR I					担当教員	金井 直
						副担当	濱崎 友絵
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学，2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				⇔	芸術創作について、人文科学的な分析・考察手法をもって、その意義と可能性を明らかに、それを他の学問分野と柔軟に接続できるようになる。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				⇔	他者理解を基盤に、芸術創作の意義と可能性を広く人々に伝え、多文化共生社会の実現に寄与することができるようになる。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	芸術創作について、柔軟な実践と創造的な論考により、俯瞰的な視野で問題を捉えることができるようになる。	
(2)授業の概要	芸術文化の諸相を、共時的に、多分野のインターフェイスとして捉えるためのリサーチ。フィールドリサーチや学外プロジェクトの実施、あるいは芸術系イベント・機関における参与観察を中心に、その準備とコミュニケーション実践、成果の分析を授業のコアカリキュラムとする。芸術の表現・鑑賞経験にとどまらず、その社会的基盤や機能に対する理解の深化をめざすアクティブな授業。本授業では創作サイドへのアプローチを重視する。						
(3)授業計画	第1回： ガイダンス（創作サイドへのアプローチと多元的なコミュニケーションの構築） 濱崎 第2回： 芸術文化の諸相（講義と討議） 濱崎 第3回： リサーチ・テーマの検討 濱崎 第4回： リサーチ・テーマの仮決定 濱崎 第5回： 予備調査 濱崎 第6回： 調査結果の分析。テーマの修正 濱崎 第7回： フィールドとのコミュニケーション 濱崎 第8回： リサーチ・テーマの確定。コミュニケーション実践方法の検討 金井 第9回： リサーチ方法の確定 金井 第10回： リサーチの準備 金井 第11回： リサーチの実施（前半） 金井 第12回： リサーチの実施（中盤） 金井 第13回： リサーチの実施（後半） 金井 第14回： リサーチ結果のまとめ 金井 第15回： 総括 金井 期末試験の有無 なし						
(4)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 各回の授業時の課題40％、リサーチの実施40％、リサーチのまとめ20％ ※評価割合は若干の調整をおこなうことがある。 得点率による評価基準は下記のとおりとする。 90%以上 秀、89－80% 優、79－70% 良、69－60% 可、59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	【卓越している】芸術コミュニケーション研究に関する基礎的な知識をもとに、多元的なコミュニケーション構築の可能性を探求し、独自性の高い結論を導くリサーチ力と実践力において極めて高い水準にある。 【かなり上にある】芸術コミュニケーション研究に関する基礎的な知識をもとに、多元的なコミュニケーション構築の可能性を探求し、独自性の高い結論を導くリサーチ力と実践力において非常に高い水準にある。 【やや上にある】芸術コミュニケーション研究に関する基礎的な知識をもとに、多元的なコミュニケーション構築の可能性を探求し、独自性の高い結論を導くリサーチ力と実践力において高い水準にある。 【その水準にある】芸術コミュニケーション研究に関する基礎的な知識をもとに、多元的なコミュニケーション構築の可能性を探求し、独自性の高い結論を導くリサーチ力と実践力において一定の水準にある。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習として、毎回の課題への対応が不可欠。また、各回の内容を事後学習でよく把握し、リサーチの実施に活かす必要がある。						
(7)履修上の注意	自身の関心領域を明確にすると同時に、関連する企画・事業・施設等に関する情報を収集し、理解を深めておくこと。						
(8)質問,相談への対応	まず以下のアドレスにメールにて問い合わせること。 kanait@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	なし。						
【参考書】	Jerrold Levinson, The Oxford Handbook of Aesthetics, Oxford Univ., 2005. ほか。						